

用和小学校区 わがまち推進計画

(第2期 平成28年度～平成32年度)

以和為貴

以和為貴(いわせんき)

和を以て貴しと

平成28年

用和小学校区まちづくり協議会

目 次

はじめに	1
用和小学校区の概要	2
用和小学校区の地域活動事業	3
用和小学校区まちづくり協議会とは?	4
第1期平成24年～27年度活動実績	5
第2期平成28年～32年度活動計画	6

資料編

用和小学校区まちづくり協議会規約	9
用和小学校区まちづくり協議会役員名簿	15
用和小学校区の防犯・防災マップ	18

概 要

私たちの住む用和小学校区は、近鉄八尾駅の北側に広がる平坦なエリアで、八尾市の中央よりやや北西に位置しています。

校区内を楠根川が南東から北西へ向かって流れており、校区の南東部は商業の集積地、中央は住宅地、北端は工場及び若干の農地という、エリアによって特色のある土地利用形態となっています。

用和小学校区は、市内で一番繁華な地域です。近鉄八尾駅は八尾市の表玄関としての顔を持ち、駅前には大型複合商業施設アリオ八尾や西武百貨店、また近鉄八尾駅高架下商店街としてペントモール八尾があり、駅前広場は東西南北に向けて走るバスのターミナルやタクシー乗場となっており、市内交通の起点となっています。

数字で地域を表すと以下の表になります。

		八尾市	用和小学校区
世 帯	(世帯)	121,086	5,719
人 口	(人)	269,068	12,003
面 積	(km ²)	41.71	0.98
人口密度	(人/km ²)	6,451	12,211
65歳以上人口数	(人)	71,511	3,052
65歳以上人口率	(%)	26.6	25.4
小学校 児童数	(人)	14,135	524
中学校 生徒数	(人)	7,473	626
14歳以下人口率	(%)	13.0	12.2

平成27年3月31日現在

※対平成20年比 人口 604人増

65歳以上比率 2ポイント増、14歳以下比率0.3ポイント減

地域活動事業

防犯・防災 巡回パトロール



校区内の児童の安全を配慮し、全児童の登校時と低学年の下校時や高学年下校時と学童児童の下校時に、あいさつ・声かけ・見守りなど校区内の巡回パトロールを実施しています。

福 祉 ふれあいサロン



毎月第1・2・3土曜日12時30分～15時30分まで集会所にてカラオケをしています。

コミュニティ 市民スポーツ祭



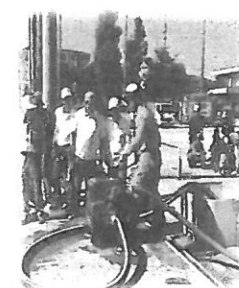
用和小学校のグラウンドで開催される市民スポーツ祭は、幼児から高齢者までみんなが参加し、一日楽しめる地域の一大行事です。最後の抽選会も大盛り上がりです。

子育て支援 はとぼっぼ用和



毎月第3土曜日 AM10時～AM11時半 就学前の幼児と保護者同伴で、季節に合ったイベントなどを催して、楽しく遊んでいます。

防災訓練



毎年1回住民の防災意識を高めるように、防災訓練を実施して、災害の発生に備えるとともに、防災備蓄倉庫の充実を図っています。

ふれあい食事会



小地域ネットワーク活動の一環で、ひとり暮らし高齢者同士や、地域住民とのふれあい交流を目的に、毎月第2土曜日に用和小学校ランチルームにて昼食会を行なっています。

ふれあいまつり



毎年11月には用和小学校の校庭や体育館内で模擬店や遊びのコーナー等、子どもや大人も楽しく触れ合える交流の場として開催しています。

かまくら体験



小学校全校対象の遠足で滋賀県まで雪の「かまくら作り体験」に行きました。子どもたちは初めての体験でたくさんの笑顔がこぼれてました。

まちづくり協議会とは？

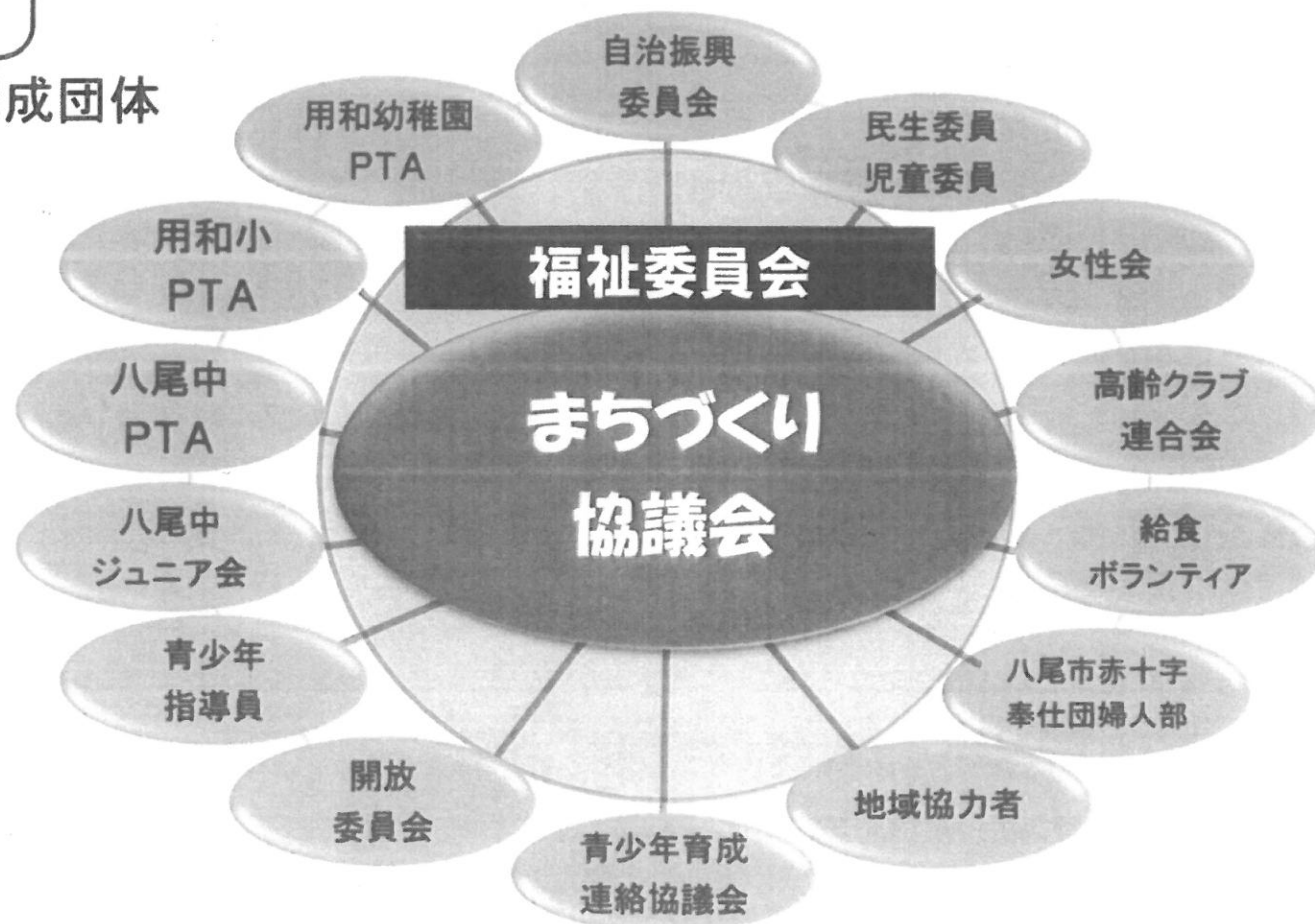
用和小学校区まちづくり協議会は、平成24年12月21日に正式に発足しました。

「校区まちづくり協議会」は、地域課題の解決や地域のまちづくりを推進するため、校区内の各種団体が「わがまち推進計画」に沿って活動を展開することができるようコーディネートする役割を担っています。

用和小学校区においては、平成27年度にアンケートやワークショップを行い、「わがまち推進計画」の改訂を行いました。

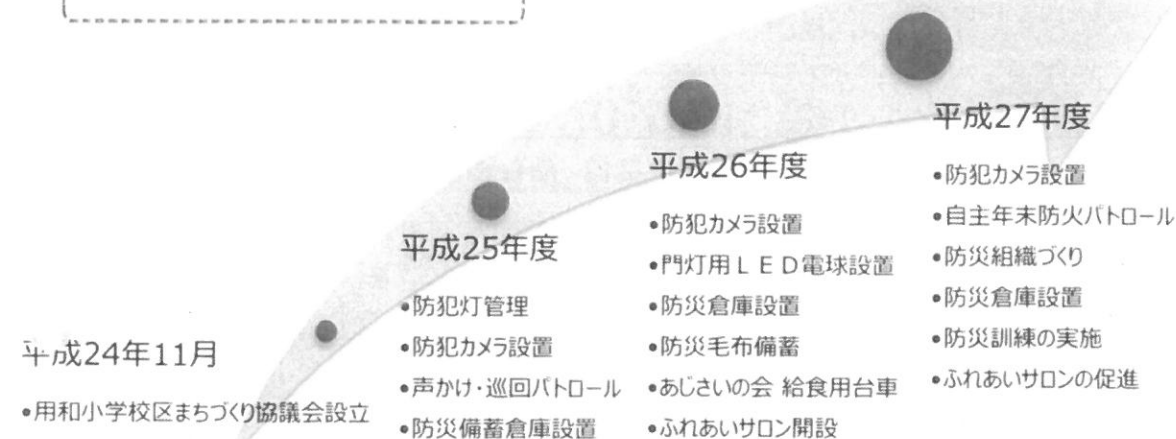
用和小学校区まちづくり協議会では、「防犯カメラの設置」「巡回パトロール」「ふれあいまつり」など、地域のまちづくりを進めていきます。

構成団体



第1期 平成24年～27年度 活動実績

【やお総合計画2020
(第5次総合計画)
『住みよいまちづくり』の実践



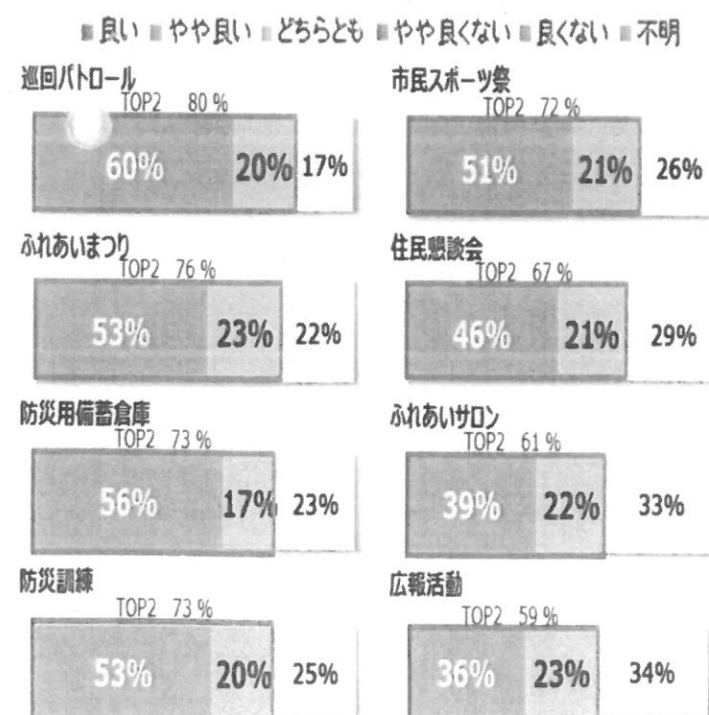
●地域コミュニティの活性化

市民スポーツ祭
ふれあいまつり
住民懇談会

ふれあい食事会
はとぼっぼ用和
高齢クラブ

親子餅つき大会
校庭キャンプ
一斉清掃

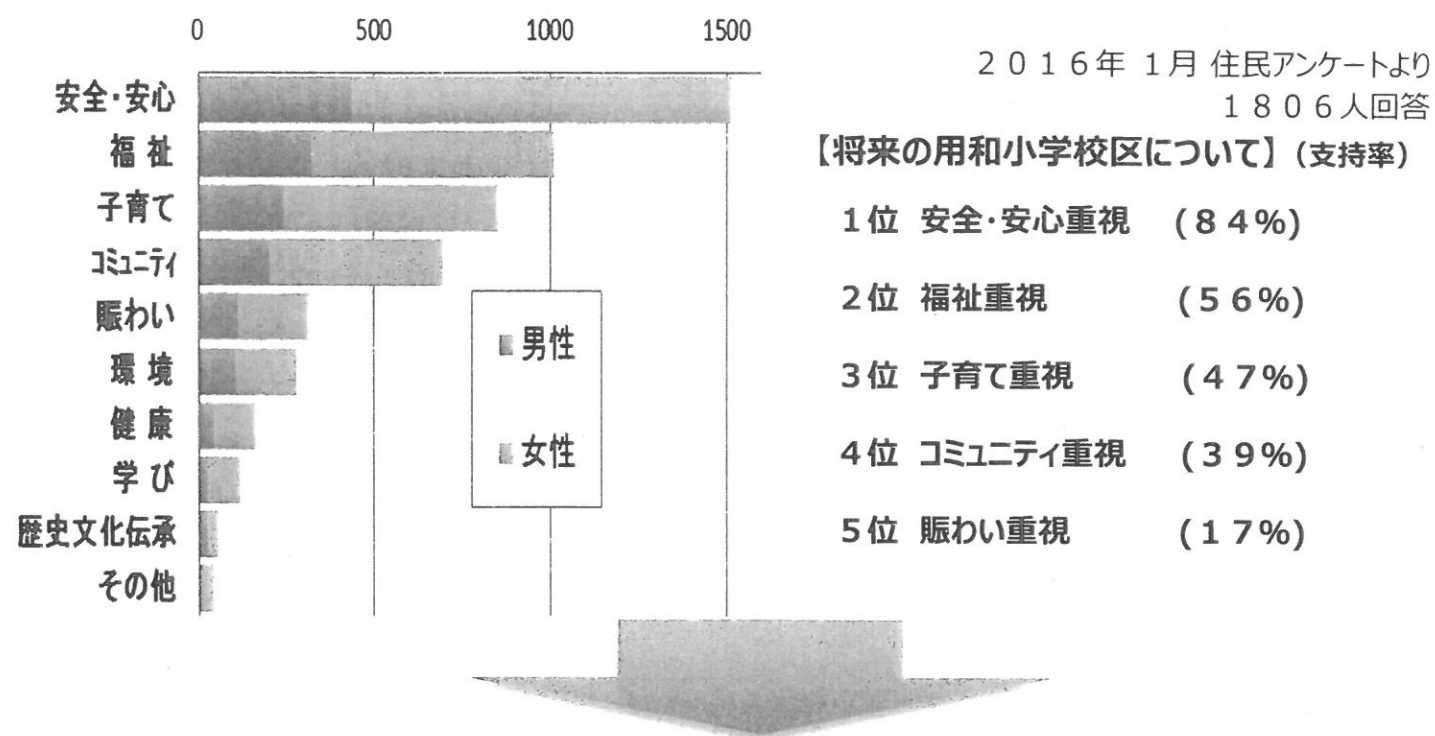
■8つの事業活動についての評価



【皆様から貴重なご意見を頂戴しました】
(別紙 自由回答まとめより)

- 8つの事業すべてについて、PR不足の指摘。
- 福祉活動については、ふれあいサロンなどの内容を検討し、告知の充実。
- 防犯・防災については、防犯灯と防犯カメラの増設。
- 巡回パトロール・・・7割以上の評価。
- 住民懇談会・・・6割前後の評価に留まる。
- 広報活動については、季節ごとのインパクトのあるPRが必要。
- ご批判と共に日頃の活動への応援と今回のアンケートに対する期待も頂戴し、まちづくり協議会役員一同、励みになりました。

第2期 平成28年～32年度 活動計画



目標1. 安全・安心のまちづくり

目標2. 高齢者・障がい者に優しい地域福祉のまち

目標3. 子どもが健やかな子育て支援のまち

目標4. 人と人がつながるコミュニティの活性化

目標5. 地域の理解を得る積極的な広報活動

目標1. 安全・安心のまちづくり

- ・危険個所への防犯カメラの設置
- ・校区内の児童への声掛けと見守り巡回パトロールの実施
- ・防災および避難訓練、防犯防災講習会などを実施することにより、緊急時への対応に備える。



目標2. 高齢者・障がい者に優しい地域福祉のまち



- ・地域の憩いの場として、毎週土曜日に、歌や折り紙作品、囲碁、将棋などの趣味を通して、交流を深められるように、ふれあいサロンの充実を図ります。

目標3. 子どもが健やかな子育て支援のまち

- ・就学前の幼児と保護者向けの支援。“はとぼっぼ用和”
- ・小学生への育成支援としての子供会の充実。
- 校庭キャンプ・ハイキング・綱引き・もちつき大会など



目標4. 人と人がつながるコミュニティの活性化



- ・恒例の市民スポーツ祭、ふれあいまつりを起点としたコミュニティの充実を図ります。
- ・住民懇談会などを通して、地域住民の生活向上に努めます。

目標5. 地域の理解を得る積極的な広報活動

- ・まちづくり協議会が行う事業計画の周知を図るため、定期的な用和レポートの発行、ホームページ開設。
- ・各種イベントのポスターなどの作成。



長池小学校区 わがまち推進計画

【平成28年度～平成32年度】



フェスタ長池風景

長池小学校区まちづくり協議会



長池小学校区の概要

長池小学校区は、八尾市の中央北部に位置し、すぐ南側には、八尾市の交通の要になっている近鉄八尾駅があり、周辺には西武百貨店やアリオなどの大型商業施設があります。

長池小学校区には、府営住宅と市営住宅があり、住宅地が大半を占めています。

校区の西側には楠根川が流れ、北西部の萱振町は恵光寺を中心とした寺内町として歴史ある地域です。また、校区には生涯学習センター（かがやき）や保健センターがあります。

長池小学校区は、世帯数は増加傾向にあるものの、人口は年々減少しています。つまり単身世帯や少人数の世帯が増えていることを示しています。また、65歳以上の高齢者も増加しており、高齢化率は26.5%（平成27年3月31日現在）になっており、7年前と比べると6%以上高くなっています。

反面14歳以下の若年層の人口は年々減少しており、人口全体に占める14歳以下の割合は13.7%となっており、7年前から2%程度下がっています。

以下の人口データ参照

	H20. 3. 31	H24. 3. 31	H27. 3. 31 現在
校 区 人 口	10,699	10,620	10,491
世 帯 数	4,447	4,621	4,669
65 歳以上人口	2,178	2,506	2,776
高 齢 化 率	20.4%	23.6%	26.5%
14 歳以下人口	1,653	1,512	1,437
14 歳以下割合	17.2%	14.2%	13.7%

長池小学校区では、多くの地域の人々や各種団体が地域発展のために、日々様々な取り組みを行っています。

一人暮らし高齢者の給食サービス、ふれあい喫茶、世代間交流、地域一斉清掃、献血促進運動、児童の登下校の見守りなどの活動をしています。

また、自治振興委員会では、八尾市からの依頼を受け、市政だより・ゴミ袋・チラシ回覧・ポスター掲示などの案件や地域での事業のお知らせなどの他、地域の行事や地域の課題について話し合われています。



これまでの取り組み

長池小学校区においては、平成25年3月31日をもって長池小学校区まちづくり協議会が設立され、「誰もが安全で安心して住み続けられるまち」「子どもが健やかに育ち、子育てのしやすいまち」「緑ヶ丘コミセンを中心に生涯学習や地域活動の活発なまち」「地域福祉の推進と福祉サービスの提供できるまち」の4つの柱を掲げてまちづくり活動に取り組んでまいりました。

安全・安心なまちづくり事業では、ヘルメットやテントといった防災用品を購入したほか、住民の防災意識を高めるために防災啓発チラシを作成し、町会を通じて配布を行いました。

また、平成26年度には整備した防災用品を活用し、長池小学校のグラウンド・体育館・プールを利用して総合的な防災訓練を実施しました。

子育て推進事業では、就園前までのお子さんと保護者を対象に手遊び・絵本の読み聞かせ・お歌の合唱などベテラン保育士の指導により子どもの健全な成長と子育て中の親御さんを支援するための「子うさぎ教室」を毎月開催し（5月と1月を除く）、利用者も毎年確実に増えている状況です。

また、育成会を中心に青少年健全育成のための取り組みが進められています。

生涯学習・地域活動支援事業では、緑ヶ丘コミュニティセンターに備品保管用の倉庫を設置するとともに、幅広い世代の方がスポーツを通じた交流が図られるようにニュースポーツ用品としてクロリティセットを購入し、育成会や高齢クラブなど様々な団体が活用されています。

地域福祉推進事業では、地域最大のふれあい交流イベントである「フェスタ長池」を長池小学校において開催し、地域の様々な団体の協力のもと模擬店出展や紙ヒコーキ、割り箸鉄砲づくりなどの昔遊びのコーナーも設けられ、大勢の参加者で賑わい、世代を越えた住民とおしの交流が進んでいます。

また、高齢者とおしの交流を広げるイベントとして、「いきいきサロン」を開催し、踊りなどを通じて高齢者の生きがい創出を図っています。



防災訓練



子うさぎ教室



フェスタ長池



いきいきサロン



これまでの活動の振り返り

長池小学校区まちづくり協議会では、平成28年度から向こう5年間のわがまち推進計画を策定するにあたって、地域住民の意見を聴くためにワークショップを開催いたしました。（平成27年8月18日と12月10日の2回実施）

まちづくり協議会発足から今まで3年間を振り返りつつ、改善点や新たにに取り組むべき課題についてさまざまな意見交換を行いました。

ワークショップで出された意見

- ・防犯カメラをもっと増やすべき
- ・防犯灯を増やすべき 公園などを明るくすべき
- ・自転車の暴走を取り締まるべき（特に高齢者と高校生）
- ・狭い道路が多く、災害時には不安である
- ・歩道をもっと整備すべき
- ・子どもたちが集団登校しているのはよい
- ・夜回りを行うと青少年の非行防止になるのでは
元気な高齢者を活用して子どもの見守りを担ってもらえたらいいのでは
- ・子どもが夜遅くまで遊んでいて心配
子どもの活動に目が届かない、見守りできる親がいない、親が子どもを指導しない
- ・イベントの参加者が特定されてきている
年配の方が多い、世代間交流が難しい
- ・フェスタはよかった、内容をもっと活性化しては
- ・フェスタや市民スポーツ祭も役員の参加が目立つ
イベントが簡素化しているので、何か還元してもっと一体感を出せないか
- ・萱振の高齢化率が高い
高齢者対策が必要
- ・高齢者の独り暮らしが多い、見守りが必要
町会と民生の連携が重要
- ・非常時に誰がどこに住んでいるか知っていることで助けることができるのでは
- ・町会加入を促進すべき
- ・放置自転車が多い
- ・ごみの出し方が悪い
夜中に出す、公園や墓地に捨てる
- ・公園が汚い
一斉清掃の時期と回数を見直しては
- ・きれいなまちづくりに取り組む必要がある
ごみのポイ捨てや猫のふんの処理
- ・きれいなまちは個人の主観の問題、地域が取り組むべきことなのか？
- ・きれいなまちは犯罪が少ないが
- ・まちづくり協議会をもっとみんなに知ってもらう必要がある



長池小学校区まちづくり協議会では、こうした住民の意見を踏まえつつ、新たな取り組み目標を定めます。

長池小学校区まちづくり協議会の目標

① 誰もが安全で安心して住み続けられるまち

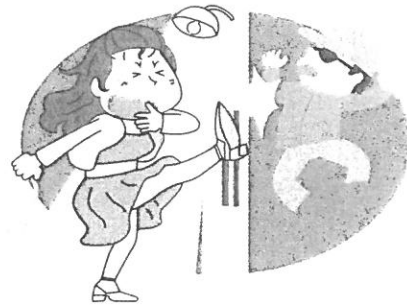
ひったくりをはじめとする街頭犯罪、また、地震や集中豪雨や台風などの自然災害、一方では子どもや高齢者の自転車事故等の交通事故、さらに高齢者や若年層を狙った悪質な商法、または消費者トラブルが増加しています。

また、長池小学校区は、狭い生活道路が多く、災害時には避難や救助などのリスクの発生が考えられます。

そのため行政や関係機関と連携しながら防犯・防災対策や交通安全教育、消費者問題対策などを進めていく必要があります。

一方で、住民一人一人が日頃から地域での連帯を強め、いざという時にはともに助け合い、支え合う関係を築いておくことが重要です。

このような住民のつながりを大切にするため、誰もが地域での関心を高め、地域活動への参加参画ができるよう進めていきます。



② 子どもが健やかに育ち、子育てのしやすいまち

少子化や核家族化、隣近所や地域におけるつながりの希薄化など、子どもや家族を取り巻く環境は大きく変化しています。

地域で育った子どもたちが安心して楽しく育つことのできる地域をつくるのが大切です。

子ども達が、健やかに育つよう、子どもたちの居場所づくりや、子どもを主体とした家庭とともに参加できる地域活動や、青少年健全育成の取り組みをすすめ、家庭・学校・地域が連携しながら地域ぐるみで子どもたちが健やかに育つまちをめざします。



③ 緑ヶ丘コミセンを中心とした生涯学習や地域活動の活発なまち

緑ヶ丘コミセンを中心とした子どもから大人まで幅広い世代がいくつになっても、そしていつでも学びたいとき学ぶことのできる生涯学習やスポーツを推進します。

構成団体や地域住民と連携、協力しながら地域活動を推進します。

④ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供できるまち

少子高齢化を迎え、ひとり暮らし高齢者の世帯、認知症や介護を必要とする世帯が今後も増える傾向にあると思われます。

このような方が地域で安心して暮らせるようになるには、地域で支え合い、助け合いを活性化し、年齢や障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に交流でき、ふれあえる場づくりを進めます。地域における福祉活動や関係機関と連携しながら、地域で支え合い、見守り事業を広げ、誰もが住み慣れた地域でいきいきと暮らせることができるまちをめざします。



長池小学校区まちづくり協議会の活動内容

① 誰もが安全で安心して住み続けられるまち

災害発生を想定した防災訓練を実施し、災害発生時に適切な避難行動や救助活動を行えるよう地域住民の防災意識の向上を図ります。

また、子どもたちが参加しての親子で校区を歩きながら防災マップを作成し、常日頃から危険個所を認識してもらうための取り組みを進めます。

子どもたちが事故に遭わないよう地域住民が声かけ運動を実施します。

歳末時には多く発生する街頭犯罪防止のため防犯パトロールを実施します。

地域住民同士の関係を構築するため、挨拶運動や声かけ運動を拡げていきます。

事故や犯罪の抑止を図るために、危険個所への防犯カメラの設置を進めます。

きれいなまちは、治安の向上につながることから、ごみの出し方や不法投棄の問題、猫のふんの処理などの問題に取り組むとともに、地区一斉清掃も地域一体となった取り組みを一層進めます。

環境啓発の面では、子どもたちが標語やポスターを作成し、公園などに掲示するなど地域住民のマナー向上を図ります。



② 子どもが健やかに育ち、子育てのしやすいまち

登下校時の子どもの安全を確保するため、学校・警察・地域などの関係団体と連携し、通学路や公園などの遊び場において、子どもの安全を見守る防犯活動や交通事故から子どもたちを見守ります。

子育て支援や子育てに関する相談、子育て中の親とおしの交流を支援し、子どもの健全な成長を促すための「子うさぎ教室」の実施をしていきます。



高齢者の方々と子どもたちの世代間交流を通じての昔の遊びや地域の人とのふれあう場所づくり、また子ども会やスポーツ教室などを通じて青少年の健全育成を進めます。

青少年の非行防止の観点から、公園などのパトロールを含む見守りを行います。

③ 緑ヶ丘コミセンを中心とした生涯学習や地域活動の活発なまち

緑ヶ丘コミセンと連携し、地域住民のニーズに合った生涯学習の推進、各種団体と連携し、スポーツ振興の推進を図ります。

とりわけグラウンドゴルフやクロリティといったニュースポーツと呼ばれる幅広い世代が取り組み可能な競技を通じてスポーツを通じた交流を図ります。

他にも趣味や学習を通じ、世代間交流を図れる場や機会をつくります。

④ 地域福祉の推進と福祉サービスの提供できるまち

地域における見守りネットワークの整備など高齢者の見守り体制の充実に努めます。

そのために高齢者をはじめ多くの住民の方々への地域活動の中核を担う町会への加入促進に努め、住民どおしの結びつき強化を図ります。

一方、ひとり暮らし高齢者の見守りには民生委員の役割も重要です。町会や民生委員と連携し、高齢者がいつまでも住み慣れた地域で暮らしていけるまちづくりをすすめていきます。

また、地域包括支援センター（萱振苑）を中心とした高齢者やその家族に対する相談体制の充実も図ります。

さらにひとり暮らし高齢者の方々への給食サービスやふれあい喫茶など地域の方の憩いの場の提供や生きがいつくりの取り組みを一層推し進め、高齢者を支える仕組みを支援します。

また、「フェスタ長池」のような事業のように、地域住民同士のさまざまなふれあい、集いや交流の機会を充実するなど、地域福祉活動の活性化のための取り組みを行っていきます。

このような福祉サービスを効果的に実施するためには、地域住民の方々に地域のために活動している団体やその内容を広く知っていただかなければなりません。

今後さらに、まちづくり協議会をはじめこれら地域活性化のために様々な活動を行っている福祉委員会や自治振興委員会などの各種団体を多くの住民の方々に周知していくための広報活動も重要となります。

構成団体	
①自治振興委員会	⑦高齢クラブ
②民生委員児童委員協議会	⑧八尾中ジュニア育成会
③更生保護女性会	⑨青少年育成連絡協議会
④ひとり暮らし高齢者の会	⑩長池小学校PTA
⑤給食ボランティアの会	⑪八尾中学校PTA
⑥日本赤十字奉仕団婦人部会	⑫スポーツ推進委員会

長池小学校区まちづくり協議会 役員名簿

会長代行	中野 照子	更生保護女性会
副会長	清水 克美	自治振興委員会
会計	水谷 民子	青少年育成連絡協議会
監査	高瀬 照夫	高齢者クラブ
監査	村田 初子	民生委員児童委員協議会
書記	明時 啓之	青少年育成連絡協議会
書記	和田真奈美	民生委員児童委員協議会